



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

1997~98年度 RIテーマ

国際ロータリークラブ会長 グレン・W・キンロス



## ロータリーの心を

あなたの住むところ 私たちの世界 そこに住むすべての人々に

四大奉仕部門すべてを通じて ロータリーの心を示そう

- クラブ奉仕—あなたのクラブに ロータリーの心を
- 職業奉仕—あなたの職業に ロータリーの心を
- 社会奉仕—あなたの地域社会に ロータリーの心を
- 国際奉仕—私たちの世界に ロータリーの心を

### ロータリー理解推進月間

第491回 平成10年1月23日(金)

#### [本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング  
「手に手つないで」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 会員卓話 林 厚雄君
8. 点 鐘

次 回 予 告  
 \* 1月30日(金)  
 12:00集合  
 例会場 シーサイドホテルフェニックス  
 IMリハーサル  
 ◎ご夫人ご同伴を  
 お願いします。  
 \* 2月6日(金)  
 2月セレモニー  
 会員卓話  
 福井輝文君

#### 佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30) 第2金 19:00 会 長 徳丸 彰一  
 例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 加藤 仙之  
 事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614 幹 事 梶田與之助  
 山脇医院長自宅内 会 計 福井輝文  
 ☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170 会 員 垂水敏雄

## 第 4 9 0 回 例 会 記 録

(1998. 1. 16)

### ☆ 会 長 の 時 間

徳 丸 彰 一 君

皆さん今日は、本日は第490回例会です。前回の新年家族懇親会・バザーでは、皆様のご協力をいただき、ますます会員・ご家族の親睦が深まり、併せて当クラブの活動資金として155,200円もの収益を挙げることができました。

また、吉田親睦委員長と赤木会員には大変お世話になりました。

厚く御礼申し上げます。

いよいよIMが1ヶ月後に迫りました。

それぞれの部門で準備を進められていることと思いますが、早目にリハーサルを行って、さらに会場で検討を加え万全を期したいと考えますので、1月30日(金)の例会を次のように変更させていただきます。

◆例会場 シーサイドホテルフェニックス

◆日 程 12:00~12:30 昼食・例会

12:30~13:30 リハーサル

プログラム順による進行

受付・案内・接待・駐車場・

控室・昼食室等の確認

### ☆ 幹 事 報 告

代理 徳 丸 会 長

1. 例会変更通知は来ていません。
2. 1998~1999年度の国際ロータリー第2730地区ガバナーノミニーの決定通知が来ています。

### ☆ 出 席 報 告

委員長代理 田 村 勝 二 君

会 員 数	25名
H C 出席者数	18名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	72%
メークアップ者数	3名
修正出席率	84%
欠 席 者 名	神宮寺・舘・山本・林 *

### ☆ 親 睦 委 員 会 よ り

委員長 吉 田 康 一 郎 君

1. 新年家族懇親会が皆様のご協力のお陰で大変楽しくできまして、感謝しております。バザーにも高価な品物を多数提供していただき、予定以上の売り上げがありました。重ねて深くお礼を申し上げます。
2. IMでのアトラクションが次のように決定しました。

◆日本舞踊『千代の鈴舞』

藤間流 山脇昭代

◆日本舞踊『四季の舞』

さきのみ  
小波流 濱田 操

同 上 垂水節子

◆『子どもひょっとこ踊り』

宮崎ひょっとこ若芽会

3. 新富町日置の「やまもとのぶあき」氏(昭和31. 1. 5生)が、佐土原RCへの入会を希望されていますので、機会を見て例会に出席していただくように勧誘してみようと考えております。



- 南嶋洋一先生は、ご自分の乗用車で往復されることが山脇中部分区代理からお知らせがありましたので、交通費相当額を差し上げることを会計の方でご配慮いただきたいと思ます。先生の駐車場はホテル構内に確保しました。記念講演の謝礼は10万円をのし袋に準備しておいてください。プロジェクター（リモコン式）は持参されるそうです。デイライトスクリーンはホテルのを使用します。
- 名札シール貼り（出席者分は名札用紙に、その他の登録者分はプログラム誌を入れる紙袋に）作業を、できれば1月30日のリハーサル後をお願いできればと思ます。

- ◆山脇中部分区代理から、広報記録担当の加藤仙之委員長に、IM開催について宮崎日日新聞に事前連絡をしておいていただきたい、との依頼がありました。
- また、記念講演要旨、パネリスト・追加発言者の発言要旨も、それぞれ当人に提出していただくように文書をお願いしてあると付言されました。

□ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □

1996~1997 年度宮崎県中部分区IMの全体会議「新世代プログラムについて」より

- ◇新世代を育成し、未来を築こうということですが、彼等は、誰も彼等の意見を聞いてくれず、彼等の生活に直接影響をもたらす諸問題について彼等の

意見を聞いてくれる人がいないと感じているという点が問題であると、欲求不満だということですね。彼等が疎外されておるという感じを持っているのではないか、ということです。

ロータリアンはまず若者たちの発言の場を設けることによって、新世代への私たちの約束を守る行動をとることが必要である。若者たちが自分たちの関心事項について発言する機会を提供し、将来のビジョンを明確にし、彼等の目標を達成するために必要な援助の方法を見つけること、地域社会のニーズを検討する過程に若者たちを参加させるように地域社会の指導者に要請すること、地域社会の繁栄の責任を共有するという意識を植え付けること、こういうことが肝心なんだと、そういう目的で新世代のための会議を開きなさいと言われておるわけでございます。（岩下哲夫カウンセラー）

- 新世代に対してロータリーは古い世代に当たるのでしょうか？ その古い世代が新世代の将来を憂い、危機感をもって前向きに考え、行動する機会を作ってやろうとしているのは、いたいほど理解できます。古い世代がお膳立てをして話し合いをする。そして出席者は肩書きばかり、ご歴々が短い時間に、古い世代において定められたテーマについて通り一遍の意見の発表で終わるのではないかと思います。要は、新世代に独創的な計画を立ててもらい、自分たちの将来を自分たちの考えでもって意見を戦わせることが大事だろうと思ます。（宮崎県RC 野田喜久至君）